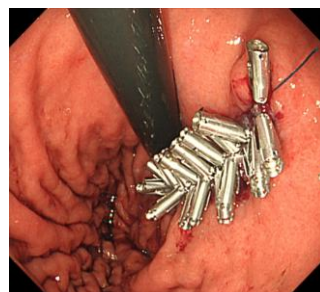
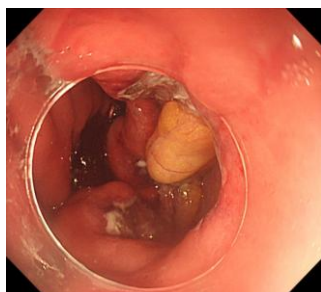


胃粘膜下腫瘍に対する 内視鏡的全層切除術（EFTR）のご案内 — 患者さんご紹介のお願い —

胃粘膜下腫瘍、特に GIST が疑われる病変では、腫瘍径や増大傾向に応じた切除が推奨されます。

当院では、胃機能温存を目指した低侵襲治療として内視鏡的全層切除術（endoscopic full-thickness resection: EFTR）を実施しています。



経口内視鏡のみで、腫瘍の切除から胃壁欠損部の閉鎖まで行います

ご紹介いただきたい患者様

- 胃粘膜下腫瘍

腫瘍径が **1~3 cm**

- 増大する症例
- 治療方針の決定に迷う症例

EFTRの利点

- 胃壁の切除範囲を最小限に抑えられる
- 周囲組織（血管、迷走神経、脂肪組織など）の処理が低減
- 腹壁切開を伴わず、創部痛が少ない

標準治療

- 腹腔鏡手術
- LECS（腹腔鏡内視鏡合同手術）

vs

整容性
機能温存
低侵襲

当院は、厚生労働省が認める「先進医療A」の実施施設です

中国地方では当院のみ(2026/4/1 時点)

全身麻酔で施行し、外科と連携した安全管理体制のもとで治療を行っています



「先進医療A」
実施医療機関



粘膜下腫瘍
ガイドライン

担当医師

まんなみ ともひこ
消化器内科医長 万波 智彦
日本消化器病学会 指導医
日本消化器内視鏡学会 指導医
岡山大学医学部医学科 臨床教授



国立病院機構岡山医療センター 消化器内科

患者さんのご紹介は、地域医療連携室（患者支援センター）にて承ります

TEL 086-294-9556（直通）

FAX 086-294-9557

